

問1 1955年時点と2015年時点の都道府県別人口増加率を比較すると、初期は全国的に高い増加率を示していましたが、近年は多くの地域で増加率がマイナス（人口減少）に転じています。このような人口動態の変化の背景にある、現代日本の課題として最も適切な説明はどれですか。

(2023年 香川公立入試 類似)

- |                                      |   |   |                                      |
|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 出生率が低下し、死亡者数が出生者数を上回る少子高齢化が進行したこと | 2. 東京一極集中が解消されたことで、地方から大都市への人口移動が止まったこと | 3. 高度経済成長期の技術革新により、すべての都道府県で過疎化の問題が解決したこと | 4. 全国の自治体で出生率が急上昇し、人口爆発への対策が必要になったこと |
|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|

問2 農地改革の目的とその仕組みについての説明として、最も適切なものはどれか。当時の農村の状況を説明した資料の内容をふまえて答えなさい。

(2017年 香川公立入試 類似)

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1. 地主が小作人に農地を自発的に売却するよう促し、市場価格での土地取引を活性化させることで農村を近代化した。 | 2. 政府が不在地主のすべての貸付地などを強制的に買い上げ、それを小作人に安く売り渡すことで、寄生地主制を解体した。 | 3. すべての農地を一度国有化したうえで、農民に平等に耕作権を割り当て、農業の集団化を図ることで生産力を高めた。 | 4. 地主が受け取る小作料を「米」から「現金」に変更し、政府がその価格を統制することで小作人の負担を軽減した。 |
|---|--|--|---|

問3 中心からの距離と方位が正しく表現される正距方位図法において、図の中心点から目的地へ直線を引き、その直線上を移動したときに得られる情報として最も適切なものはどれか。

(2019年 香川公立入試 類似)

- |                     |                     |                     |                     |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 目的地までの最短距離と正しい方位 | 2. 目的地までの等角航路と正しい方位 | 3. 目的地が含まれる大陸の正確な面積 | 4. 経線と緯線が常に直交する位置関係 |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|

問4 地方自治において、国から地方公共団体へ税金を集める権限を移す「税源移譲」が行われる最大の目的として、最も適切なものはどれですか。

(2020年 香川公立入試 類似)

- |  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 1. 地方公共団体が自ら集めて自由に使える「自主財源」の割合を高め、地方の自立性を強めるため | 2. 国が使い道を特定の事業に限定して支出する「国庫支出金」を増やし、国の監督権限を強めるため | 3. 地域間の財政力の格差を是正するために、国が「地方交付税交付金」を再分配する総額を増やすため | 4. 公共施設の建設などのために、地方公共団体が国などの許可を得て借金をする「地方債」の依存度を下げるため |
|--|---|--|---|

問5 1889年に公布された大日本帝国憲法において、国民（臣民）の権利はどのように定義されていましたか。その特徴として正しいものを選んでください。

(2019年 香川公立入試 類似)

- |                          |                                   |                                     |                               |
|--------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 法律の範囲内においてのみ、認められていた。 | 2. 侵すことのできない永久の権利として、全面的に保障されていた。 | 3. 法律によっても制限することができない、絶対的なものとされていた。 | 4. 天皇の許可があれば、法律に関係なく自由に行使できた。 |
|--------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|

問6 16世紀から17世紀にかけて、日本の石見銀山で産出された大量の銀が果たした役割や背景について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。

(2024年 香川公立入試 類似)

- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1. 中国（明や清）から生糸などの物資を輸入するための、主要な決済手段として輸出された。 | 2. 銀の国内流通を独占して通貨の価値を安定させるため、幕府によって海外への輸出は厳しく禁止された。 | 3. 主に鉄砲の原料となる鉛をヨーロッパから輸入するため、その代価として物々交換にのみ利用された。 | 4. 産出された銀のすべては、平泉の周辺に金閣のような豪華な寺院を建設するための資金として費やされた。 |
|--|--|---|---|

問7 東経135度の日本（東京）が4月1日の午前10時であるとき、西経60度に位置するパラグアイのアスンシオンの現地時刻として正しいものはどれですか。ただし、サマータイムは考慮しないものとします。

(2018年 香川公立入試 類似)

- |               |                |               |              |
|---------------|----------------|---------------|--------------|
| 1. 3月31日の午後9時 | 2. 3月31日の午後11時 | 3. 4月1日の午後11時 | 4. 4月2日の午前9時 |
|---------------|----------------|---------------|--------------|

問8 日本の冬の気候に大きな影響を与える北西の季節風（モンスーン）の仕組みと、日本海側の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2021年 香川公立入試 類似)

- |   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、日本海を渡る際に暖流の影響で水蒸気を蓄え、山脈にぶつかると日本海側に雪をもたらす。 | 2. 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、山脈を越えて太平洋側に達することで、日本海側に乾燥した晴天をもたらす。 | 3. 小笠原高気圧から吹き出す湿った風が、日本海を渡る際に水分を失い、日本海側の降水量を減少させる。 | 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風が、日本海側に冷害をもたらす、冬の降水量を極端に少なくさせる。 |
|---|---|--|---|

問9 織田信長が足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた歴史的背景とその影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2018年 香川公立入試 類似)

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 旧来の権威である幕府の力を排除し、信長自身による新しい秩序の構築を目指した。 | 2. 仏教勢力との連携を強化するために、幕府を解体して新しい宗教国家を作ろうとした。 | 3. 北条氏や今川氏などの有力守護大名と協力して、幕府の組織を再編しようとした。 | 4. キリスト教の教えに基づいた政治を行うため、伝統的な幕府の仕組みを廃止した。 |
|---|--|--|--|

問10 世界地図上に、地図上の長さが全く同じ横向きの矢印を、「北半球の高緯度」「北半球の中緯度」「赤道直下」「南半球の中緯度」の4か所に引いたとします。この地図が、経緯線が直角に交わり、経線が等間隔で平行に描かれたものである場合、矢印が示す「実際の距離」が最も長い場所はどこですか。

(2024年 香川公立入試 類似)

- |                   |                   |                |                   |
|-------------------|-------------------|----------------|-------------------|
| 1. 北半球の高緯度に引かれた矢印 | 2. 北半球の中緯度に引かれた矢印 | 3. 赤道直下に引かれた矢印 | 4. 南半球の中緯度に引かれた矢印 |
|-------------------|-------------------|----------------|-------------------|

問11 日本国憲法では、基本的な権利が侵害された際にその救済を求めて、国に対して一定の行為を請求できる権利が保障されています。この「権利を確保するための権利」とも呼ばれる権利の名称として適切なものはどれですか。

(2017年 香川公立入試 類似)

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 請求権 | 2. 社会権 | 3. 自由権 | 4. 参政権 |
|--------|--------|--------|--------|

問12 長崎県の五島列島・福江島周辺など、日本の領海の外側に広がる排他的経済水域における他国の権利について述べた文として、適切なものはどれですか。

(2024年 香川公立入試 類似)

- |                                       |   |                                       |  |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|--|
| 1. 他国の船舶は、沿岸国の許可がなくてもその水域を航行することができる。 | 2. 他国の船舶は、沿岸国の許可なくその水域で操業し、水産資源を得ることができる。 | 3. 他国の企業は、沿岸国に無断で海底油田を調査し、天然ガスを採掘できる。 | 4. 他国はいかなる理由があっても、沿岸国の許可なくその水域を通過できない。 |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|--|

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 出生率が低下し、死亡者数が出生者数を上回る少子高齢化が進行したこと	高度経済成長期には若年層が多く、活気あふれる人口構成でしたが、現在の日本は少子高齢化の影響を強く受けています。1955年ごろは多くの都道府県で人口が増加していましたが、2015年のデータでは、東京近郊などの一部を除くほとんどの地域で人口が減少しています。これは、合計特殊出生率の低下による自然減が、日本全体の深刻な課題となっていることを示しています。
問2	答え 2 政府が不在地主のすべての貸付地などを強制的に買い上げ、それを小作人に安く売り渡すことで、寄生地主制を解体した。	農地改革は地主の善意や自発的な行動によるものではなく、法律に基づいた政府による「強制的な買い上げ」と「売り渡し」によって実施されました。特にその土地に住んでいない「不在地主」の土地はすべて買い上げの対象となり、耕作していた小作人に安価に譲渡されました。この結果、小作地は激減し、自分の土地で農業を行う自作農が急増して農村の民主化が進みました。
問3	答え 1 目的地までの最短距離と正しい方位	正距方位図法は、その名称の通り「中心からの距離」と「方位」を正しく表すために考案された図法である。この地図上で中心からある地点へ直線を引くと、その直線は地球上の最短距離である「大圏航路」を示し、同時にその地点への正確な方位を示している。この特性から、航空図などに広く利用されている。
問4	答え 1 地方公共団体が自ら集めて自由に使える「自主財源」の割合を高め、地方の自立性を強めるため	地方分権を進めるためには、地方公共団体が自らの判断と責任で行政サービスを行うための資金を、自分たちで確保する必要があります。これを「自主財源」と呼びます。税源移譲は、所得税（国税）から住民税（地方税）へと税の窓口を移すなどの方法で行われ、国に頼らない財政基盤を確立し、地域の実情に応じた柔軟な政策運営を可能にすることを狙いとしています。
問5	答え 1 法律の範囲内においてのみ、認められていた。	大日本帝国憲法では、国民は「臣民」と呼ばれ、言論や信教の自由などの権利が認められていましたが、これらはすべて「法律の範囲内」という条件付きの権利でした。これは、現在の日本国憲法が保障する「基本的人権」が、公共の福祉による制限を除き、法律によっても侵されない永久の権利とされている点と大きく異なる特徴です。
問6	答え 1 中国（明や清）から生糸などの物資を輸入するための、主要な決済手段として輸出された。	石見銀山などで産出された銀は、当時の国際的な決済通貨として非常に高い価値を持っていました。日本は中国から高品質な生糸や綿織物を輸入する際、その支払いに銀を用いていました。この銀の存在は、ポルトガルやオランダなどのヨーロッパ諸国が東アジアでの貿易に積極的に参入する大きな要因の一つにもなりました。選択肢にある平泉や金閣などの記述は、平安時代や室町時代の文化背景であり、時期や目的が異なります。
問7	答え 1 3月31日の午後9時	まず、日本とアスンシオンの時差を算出します。経度差は135（東経）+60（西経）=195度であり、これを15度で割ると13時間の時差があることがわかります。日本は日付変更線に近いので、世界の中でも時刻が早く進む国です。そのため、パラグアイの時刻を求めるには日本の時刻から13時間を引き算します。4月1日午前10時の10時間前は4月1日の午前0時であり、そこからさらに3時間遡る必要があるため、前日の3月31日の午後9時となります。
問8	答え 1 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、日本海を渡る際に暖流の影響で水蒸気を蓄え、山脈にぶつかることで日本海側に雪をもたらす。	冬になると、ユーラシア大陸にあるシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出します。この風が日本海を渡る際、暖流である対馬海流の影響で大量の水蒸気を取り込み、湿った空気に変化します。これが日本の脊梁山脈にぶつかって上昇気流が発生することで、日本海側に雪や雨を降らせます。山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天が多くなります。
問9	答え 1 旧来の権威である幕府の力を排除し、信長自身による新しい秩序の構築を目指した。	織田信長は、中世以来の古い権威や制度が自身の天下統一の妨げになると考え、将軍を追放して室町幕府を事実上滅ぼしました。これにより、信長は将軍の権威を借りることなく、自らの強力な軍事力と経済力を背景とした新たな統治体制を築いていくことになりました。比叡山延暦寺の焼き討ちなどに見られるように、既存の宗教勢力とも対立しており、宗教国家を目指したわけではありません。
問10	答え 3 赤道直下に引かれた矢印	経線が平行に描かれた地図（メルカトル図法など）では、高緯度ほど実際の面積や距離が拡大されるという特徴があります。これは、本来は極点に向かって収束している経線を、赤道と同じ幅になるよう無理やり平行に広げているためです。地図上で同じ長さの矢印であれば、拡大率が最も小さい（＝実際の距離をそのままに近い形で表現している）赤道付近が、最も長い実際の距離を示していることとなります。
問11	答え 1 請求権	請求権は、憲法で保障された他人の権利が侵害された場合に、司法や行政に対して救済を求めるための権利です。これには裁判を受ける権利、国家賠償請求権、刑事補償請求権、請願権などが含まれます。社会権が「人間らしい生活」を求める権利であるのに対し、請求権は「権利の侵害を回復する」ための手段としての側面が強いのが特徴です。
問12	答え 1 他国の船舶は、沿岸国の許可がなくてもその水域を航行することができる。	排他的経済水域では「経済的」な権利（魚、石油、天然ガスなど）は沿岸国に帰属しますが、船の通り道としての機能は国際的に開放されています。これを「航行の自由」と呼びます。領海（沿岸から12海里以内）であれば沿岸国の安全を害さない「無害通航」に限定されますが、排他的経済水域においてはより広い自由が他国に認められています。したがって、他国の船が通り過ぎるだけであれば、沿岸国の許可は必要ありません。